

関通 轉法輪寺 除夜の鐘撞き

轉法輪寺の梵鐘は楼門の階上に吊されており、大変珍しい形状をしております。その梵鐘を大晦日に限って、皆様方にも特別に撞いて頂くことにしております。

一年の締めくくりとして巷百八の煩惱を除滅する意味で、今年一年の懺悔と新年への期待を込めて、精一杯の思いで撞いて下さい。

當山の梵鐘は宝暦14年(1764)に作られたもので、高さ2m50cm、横幅は1m30cmもの大梵鐘で、鐘楼門として階上に吊されたものとしては最大級の梵鐘であります。

皆様も是非、鯨が大海を揺るがすが如き銘鐘を響かせて清らかな新年をお迎え下さい。

※尚、巷百八番までの方には番号入りのお礼をお授けいたします。

とき

2023年12月31日
23:45頃より

僧侶による読経並びに撞き初めの後、一般の参拝者にも鐘楼門の階上に上がって頂き、撞いて頂きます。(足の不自由な方は一階通路からも撞いて頂けます。)

※人数の制限は設けませんが、お7人様1回ずつに限らせて頂きます。

※極寒の時節であり安全の問題上、23時半迄はならぬので下さい。

それ迄は境内にも入れません。

※午前7時過ぎには終了します。

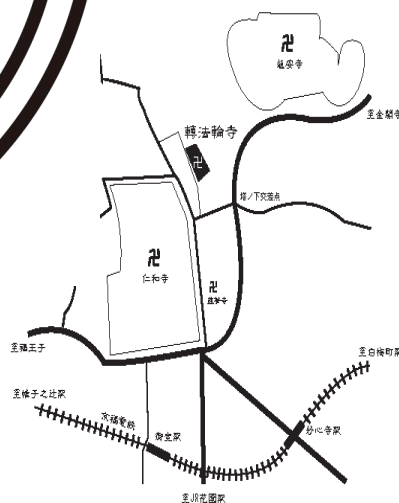


鐘楼門の梵鐘の特別な鐘の撞き方

當山の梵鐘は、楼門と鐘楼が一つになった鐘楼門という建物の2階部分に吊されていることから、少し特別な撞き方をします。

- 履き物を脱いで頂き、2階へ上がって頂きます。
- 梵鐘の前、撞木の側には座布団がひかれており、そこに座って頂きます。(低めの椅子も用意できます。)
- 座ったままで、まずは合掌をして頂き、浄土宗のご本尊阿弥陀様へのお参りとして「南無阿弥陀仏」とお称え頂きましてから、心静かに鐘を撞いて頂きます。
※足の不自由な方は一階にて立ったままでも撞いて頂けます。
- 撞き終わったら再び合掌をして祈念した後、梵鐘を撞いたお印としてのお礼をもらって頂き、階下へ退場して下さい。
- 最後に本堂に参って、本尊阿弥陀大仏様の前にて新年のお参りをなさって下さい。

とこ



※当日は駐車スペースがござりません。自家用車でのご来寺はご遠慮下さい。

浄土宗 獅子吼山 關通 轉法輪寺

京都市右京区龍安寺山田町2 電話075(464)2668